

[環境化学] 投稿規定

(投稿資格)

- 1 投稿者は本会会員とする。ただし、編集委員会において認めた場合はこの限りではない。

(原稿の内容)

- 2 原稿は環境化学に関する内容のものとする。ただし、他の出版物にすでに発表したもの、または営利上の宣伝に関するものは受理しないものとする。

(原稿の採否)

- 3 原稿の採否は、報文および総説については複数の査読委員の審査を経て、編集委員会において決定する。研究ノート、調査報告および技術報告については適切な査読委員の審査を経て編集委員会において決定する。上記の分類に入らない企画論文については、編集委員会の審査と判断に基づき決定する。

(原稿の訂正)

- 4 編集委員会は、査読委員の意見に基づき、著者に原稿を返送のうえ書き直し、または訂正を求めることがある。その場合、返送の日から3ヶ月を経ても再提出されないときは、著者が原稿を取り下げたものとみなす。

(執筆要領)

- 5 原稿は次の要領に従って執筆するものとする。
 - (1) 原稿はA4判用紙縦に横38字縦40行程度で作成し、図表を含め総説、報文は、総文字数が15,000字以内、研究ノート、調査報告および技術報告は、10,000字以内となるようにすること。なお、図表は組み上がりおよそ1段(縦横1:1程度の大きさ)で500文字相当、2段(縦横1:2程度の大きさ)で1,200文字相当程度となる。
 - (2) 原稿は電子投稿システム(J-STAGE「環境化学」URL: <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jec/-char/ja>)を用いて提出する。投稿時はPDF形式で提出し、審査完了後に最終原稿をMicrosoft Word形式等で提出する。アップロードできるファイルの容量は合計で20MB以下とする。なお、図表についてはMicrosoft Word、同Excel、同PowerPoint、PDF、JPEGも必要に応じ利用可能である。インターネットから電子投稿システムを用いた投稿を原則とするが、インターネット利用等に困難のある場合は事務局に連絡すること。投稿に当たっては電子投稿システム利用要領を参照すること。
 - (3) 原稿の1ページ目には表題、著者全員の氏名、勤務先、住所、電話番号、FAX番号を記入すること。表題、著者全員の勤務先、住所および氏名は、和文と英文の併記とすること。主著者に*をつけること。
 - (4) 報文および研究ノートの執筆順序は、英文要約(Summary)、はじめに、方法、結果、考察、謝辞、和文要約(和文原稿の場合)、文献、表、図及び写真の説明(Figure Legends)、図および写真の項目順に執筆すること。和文原稿の場合であっても、図表のタイトルおよび説明は英文で執筆すること。
 - (5) 原稿には、3~5個のキーワードをSummaryの後に記入

すること。キーワードは、固有名詞以外は小文字表記にすること。

- (6) 報文、総説、研究ノート、調査報告、技術報告および企画論文には、英文要約(Summary, 300語以内)および和文原稿の場合には、和文要約(要約, 500字以内)を添付すること。
- (7) 文字は、当用漢字、新仮名使いを用いること。
- (8) 行を改めるときは、行の始まりを一字あけて書きはじめること。
- (9) 原稿にはページ番号、行番号を付記すること。
- (10) 英文字、ギリシャ文字、数字、記号は原則として英数字フォント(1バイト文字)を使用する。また一般的なフォントを用いることとし、特殊なフォントの利用は避けること。大文字、小文字、斜体、上付き、下付きなどの区別を明確にすること。
- (11) 単位は特に指定する場合(別表1)を除き、原則としてSI単位系により記載する。単位は、原則、半角文字とし、数字の後ろに単位をつける場合は、半角スペースを入れること(℃と%のように全角文字とする場合は、この限りではない)。
- (12) 一般的でない記号あるいは用語(外来語を含む)を用いるときは、注釈をつけること。
- (13) 引用文献は下記の凡例に準じ、著者名、表題名、雑誌名、巻、ページ、発行年の順に、単行本の場合は、引用箇所の著者名、表題名、ページ、本の表題名、本の編(著)者名、発行所、発行所の所在地、発行年の順に記入すること。
- (14) 英文の著者名は、ラストネームの後ろにカンマ(,)、ファーストネームはイニシャルにする。著者が複数の場合は、間にカンマ(,)を入れて、最後の著者の前にandを入れる。著者名の後ろにコロロン(:)、表題名と書名の後ろにピリオド(.)を入れ、その他の各項目の間にすべてカンマ(,)を入れること、単行本の書名には、「」(和書)または“ ”(洋書)をつけること。
- (15) 発行年は西暦を用い、[年]の字は入れない。
- (16) 英文雑誌名はイタリック表記、巻号はボールド表記とすること。通しページでない雑誌の場合のみ号数を入れること。

[文献の記入例]

- 1) 赤石智美, 村山 等, 松谷 亮, 高橋 司, 庭野健太, 旗本尚樹: 阿賀野川で発生した異臭事案とその原因物質について, 環境化学, 27, 29-34 (2017)
- 2) Kadokami, K., Tanada, K., Taneda, K. and Nakagawa, K.: Novel gas chromatography-mass spectrometry database for automatic identification and quantification of micropollutants. *J. Chromatogr. A*, 1089, 219-226 (2005)
- 3) Behera, S.N., Xian, H. and Balasubramanian, R.: Human health risk associated with exposure to toxic elements in mainstream and sidestream cigarette smoke. *Sci. Total Environ.*, 472, 947-956 (2014)
- 4) 安原昭夫, 金子 実: 廃棄物の安全管理, pp.100-107, 「研究のためのセーフティサイエンスガイド」, 東

京理科大学安全教育企画委員会編，朝倉書店，東京 (2012)

- 5) Friedlander, S.K.: Convective diffusion: Effects of finite particle diameter and external force fields. pp58-93, "Smoke, Dust, and Haze: Fundamentals of aerosol dynamics, 2nd edition". Oxford university press (2000)
- 6) 環境省：「生物応答を利用した排水管理手法の活用について」に関する意見募集結果の概要，http://www.env.go.jp/press/seibutsu_conf06/ref02.pdf，2018年2月14日現在

- (17) 図 (A4判の用紙に入る大きさ)，写真は十分な解像度 (製本印刷時に300 dpi 以上となる解像度) で鮮明に作成すること。
- (18) 図，表，写真には，必ず番号と表題 (英文) を付けること。
- (19) 図，表，写真はすべて，刷り上がり時A4の2段組み片側，両側，もしくは1ページ全面の3種類のいずれかに適合するサイズで作成する。いずれのサイズの図，表，写真として扱うかを各図ごとに著者が指定すること。上記の3サイズいずれかに適合しない図表は原則として受理しない。
- (20) 表は上記 (19) 項の印刷時の指定サイズにおいて，本文と同様のフォントサイズおよび行間となるよう作成する。
- (21) 図，表，写真の挿入位置は編集委員に一任すること。

(著者校正)

- 6 著者校正は一原稿につき一回行う。著者は校正用電子ファイル (PDF ファイル) を受領後，締切日までに校正を行い速やかに返却するものとする。

(別刷および原稿 PDF ファイル)

- 7 総説，報文，研究ノート，調査報告，技術報告，企画論文の PDF ファイルを著者に提供する。別刷は著者の申し出により印刷され，本会の規定に基づいて著者が料金を払うものとする。

(著作権)

- 8 本誌に掲載された原稿の著作権は著者に帰属するものとする。論文は，クリエイティブコモンズの国際ライセンス (以下 CC ライセンス <https://creativecommons.jp/licenses/>) の条件下で掲載される。
 - (1) 著者 (連名の場合は投稿者) は，論文の掲載が決定した時点で CC ライセンスの種類を決定し，CC ライセンス通知書兼出版権供与承諾書を編集委員会事務局宛に提出する。なお，論文掲載後に CC ライセンスの種類の変更ができないことに留意する。
 - (2) 著者は，次の CC ライセンスの中からその種類を決定することができる。
 - ① BY (表示)，② BY-SA (表示-継承)，③ BY-NC (表示-非営

利)，④ BY-NC-SA (表示-非営利-継承)，⑤ BY-NC-ND (表示-非営利-改変禁止)

(出版権)

- 9 本誌に掲載される原稿の出版権は本会に帰属するものとする。著者 (連名の場合は投稿者) は，論文の掲載が決定した時点で CC ライセンス通知書兼出版権供与承諾書を編集委員会事務局宛に提出する。

(コンプライアンスに関する注意)

- 10 人に関する試料を扱った論文の場合，著者の所属する機関または外部の倫理審査委員会等の承認を得ていることを明記すること。また，哺乳動物を用いた動物実験を扱った論文においても，著者の所属する機関または外部の動物実験に関連した委員会等の承認を得ていることを明記すること。

(経過措置)

- 11 2020年1月1日より適用する。ただし，本規定発効以前に投稿された報文等については，審査・掲載等が完了するまでは旧投稿規定 (2018年9月改定版) の相当項目を準用する。

(適用期日)

- 12 この規定は，2020年1月1日から適用する。
 - 1992年10月1日一部改定
 - 2007年10月1日一部改定
 - 2010年2月1日改定
 - 2011年3月24日一部改定
 - 2014年6月23日改定
 - 2014年9月22日一部改定
 - 2018年9月20日一部改定

(事務局連絡先)

〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-18-3 小川ビル 3 F
日本環境化学会 編集委員会事務局
TEL 029-886-3185
FAX 029-886-3186
電子メール edit@j-ec.or.jp

別表1 本誌における単位表記

以下の単位は「環境化学における単位の例」の表記に従うものとする。

本誌における単位の例	相当する他の表記の例
L	ℓ, dm ³
μg/g 等 (複雑な場合等は右の例も可)	μg·g ⁻¹
分子イオン表記の例: M ⁺	M ⁺